



**保育目標
(目指す子ども像)**

- ・ 挨拶のできる子
- ・ 心身ともに健康な子
- ・ 思いやりのある子
- ・ 自ら考え、進んで行動できる子

秋風が心地よく、キンモクセイのほのかな香りが漂うよい季節となりました。

保護者の皆様のご協力と外部の方々の入室を最低限に留めているため園関係の新型コロナウイルス発症者は今のところなく、一安心しているところです。

引渡し訓練には、ご多用のところ、ご協力いただきありがとうございました。子どもたちの尊い命を守るのはわれわれ大人の責任です。この思いを今年も保護者の皆様と園とで共有できたことを心強く感じ、感謝しております。

運動会については、園児、保護者の皆様、職員の健康と安全を第一に、密を避け今できる最善のやり方はどうあればよいのかを話し合い、幼児のみのクラスごとの「生活発表会(運動)」として行うことになりました。新たな気付きや発見があればうれしいです。

先日、うさぎ組も含めて幼児部で芋掘りをしました。思いもかけないほど大きなサツマイモが掘り出されるたびに歓声を上げ楽しいひとときを体験しました。収穫したさつまいもは給食で提供しました。自分たちが掘ったものは、好きでなくても喜んで食べられるのが不思議であり格別です。これからは春野菜の準備に入ります。

十五夜には、歌や絵本で日本文化の良さを伝えながら食育の一環として幼児部はお月見団子のクッキングをする予定です。

新型コロナウイルス感染予防が絶えず頭から離れることのない毎日ですが、今月も園運営にご理解とご協力をお願いします。

【10月の伝言板】 <パパ!!頼りにしています>

二度とやってこないわが子が幼くかわいい時期です。働き盛りのパパにとって、家庭と職場の両立は難しいものですが、奥さんも不安でパパを頼りにしています。

○パパ、早く帰ってきて

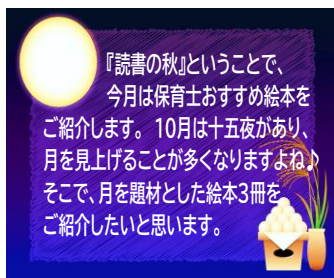
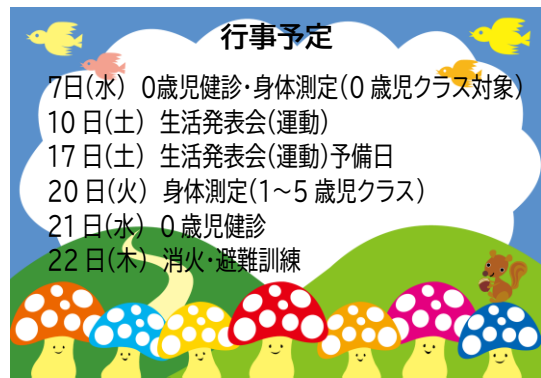
初めての育児だとママは不安でいっぱい。何ごともなくとも、パパが帰ってきてくれただけでホット安心できます。「大変だね」「よく頑張っているね」というひとことで疲れが吹き飛びます。

○赤ちゃんは、振動と人ごみが苦手です

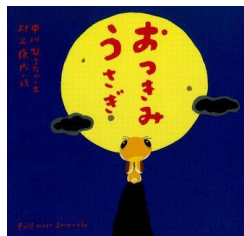
赤ちゃんの脳は振動に弱く出ています。首が座らないうちにだっこやベビーカーで長時間連れ回すことは厳禁です。3か月頃になると首がすわりますので、散歩にもいけるようになります。休日には、パパが1時間でも散歩に連れ出し、年中無休のママをリフレッシュさせてあげましょう。

○おつまみを食べさせないで

赤ちゃんの胃は、母乳以外のたんぱく質を消化する機能が未熟です。油の入った食品や肉、魚、卵、チーズなどを食べられるとわずかな量でもアレルギーの原因になることがあります。おつまみやお菓子は食べさせないようにしましょう。



『読書の秋』ということで、
今月は保育士おすすめ絵本をご紹介します。10月は十五夜があり、月を見上げることが多くなりますよね。そこで、月を題材とした絵本3冊をご紹介しますと思います。



『こんやはおつきみ』 金の星社
こちらの本はすでに廃盤となってしまいました。日本の古くから伝わるお月見の風習を昔(といっても昭和の時代ですが)はどのように家族と過ごしていたかなどが描かれています。



『おつきみうさぎ』 童心社
保育園ですすきを採りに野原に行くと、光るうさぎと出会います。お月見の当日であることがおこります。

『おつきさまはまあるくなくっちゃ!』 大日本図書
絵もお話もユニーク。一見、強面のおばあちゃんが主人公です。ある日月を見て「あらまあ!たいへん」と何かに気付きます。月とおばあちゃんとのかわりがとて面白い作品です。

春明保育園ホームページは、「社会福祉法人春明会 春明保育園」と検索していただくとご覧になれます。裏面は『ほげんだより』です。